

遺愛女子中学校 1967年(昭和42年)卒業 同期会が行われました。

6月12日(日)の午後3時から遺愛女子中学校を45年前にご卒業された方々の同期会が遺愛学院の講堂で行われました。高校の同期会はよくおこなわれますが、中学校の同期会はとても珍しいようです。遠くは福岡県、岡山県、東京都、茨城県2名、千葉県、そして札幌、地元から全部で18名の方が集まりました。担任の先生も駆けつけました。金石先生と安澤先生でした。

講堂では遺愛生時代のように、礼拝を守りました。讃美歌を歌い、聖書を読み、メッセージに静かに耳を傾け、祈りました。ピアニストの関 悌(せきやすし)先生がお見えになり、講堂にあるスタインウェイのピアノで、記念曲として「おもえば昔」「主よ、人の望みの喜び」を弾いて下さいました。心にしみいるような音色で至福の一時でした。

礼拝後は後輩達のためにとデカルソン基金へのご寄付がありました。心から感謝です。また、全員で記念写真を撮ったあとは校内見学をしました。昔とまったく変わらない講堂や本館、科学館のチャペル見学の後は、5年前にできた遺愛アリーナ(大体育館)の大きさに目を瞠り、カフェテリア(食堂)があるのに驚かれています。青春時代がいっぺんで戻ってきたようでした。夜は湯の川のホテルに場所を移して旧交を温めたそうです。

この時期、同窓会本部会、札幌支部総会などがあり、多くの同窓生と接する機会がありますが、皆さん、遺愛時代を懐かしく思い返し、遺愛に誇りをもっていることを強く感じます。そして、遺愛のために、後輩のために少しでも何かしたいという思いでいてくださるのを本当に嬉しく感じます。



2011年6月20日